

# 大宮

THE ŌMIYA HACHIMAN

平成 28 年 (2016)

皇紀 2676 年

平成 28 年 わかば祭り (春の大祭) 号【第 105 号】

<http://www.ohmiya-hachimangu.or.jp/>

## 主な目次

神武天皇2600年式年祭御親祭をかしこみて…	2 頁
わかば祭り (春の大祭) のご案内…	3 頁
神宮撤下御装束神宝ご下賜…	5 頁
杜の話題…	7 頁
大宮八幡の杜 春から夏へ…	9 頁
初宮詣芳名・どんぐり通信…	10 頁
わかば祭り社頭風景…	12 頁



# わかば祭り(春の大祭)



御神域の木々の緑が鮮やかな季節となりました。5月3日より5日まで、わかば祭り(春の大祭)を齋行致します。

これに先立ち4月29日には、昭和天皇のご聖徳をお讃え申し上げ、午前10時より昭和祭が厳かに齋行されます。大祭初日の3日は第一日ノ儀(稚児健康祈願祭)に続き、第38回稚児行列が行われます。翌4日には、第2日ノ儀に併せて挙式者の集い開催奉告祭の後、第16回若葉inおおみやと第16回「挙式者の集い」が催されます。午後には、植樹祭が行われ、苗木が授与されます。そして、5日午前10時より春の大祭当日祭(尚武祭)が齋行され、皇室国家の安泰・五穀豊穡が祈念されます。春の大祭期間中は奉祝行事として、4月29日の弓道奉納射会を始め3日より5日まで表参道での大宮八幡植木市や露店、ご社殿前では様々な神賑行事が奉納され、大勢の参拝の方々に賑わいます。そして14日には、第17回茶道裏千家献茶式が行われます。



## 油武天皇二千六百五式年祭 御親祭をかしこみて

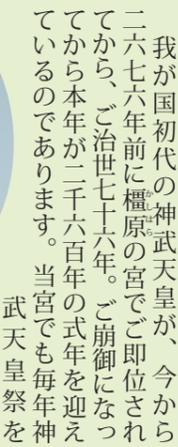
室司 鎌日紀彦

境内の桜花が満開となり、春爛漫を告げております。本年もやがて一雨毎に草木が芽吹き始め、風薫る若葉青葉の好季節が巡り来て、大自然の大きな息吹きを感じられる中、五穀豊穡をお祈りする、わかば祭り(春の大祭)を迎えます。

この時にあたり、二六七六年前の即位のときが、日本建国であることに想いを致し、その上を偲びたいと思います。

今年4月3日は、初代の神武天皇が崩御されてより二千六百年の式年にあたります。天皇皇后両陛下には奈良県下へ行幸啓あそばされ、当日の3日、神武天皇山陵に於て、百年振りに「神武天皇二千六百年式年祭の儀・山陵の儀」を御親祭になり、のち皇后陛下が御参拝になりました。また、秋篠宮同妃両陛下が各々供奉されました。そのあと、両陛下は橿原神宮へご参拝あそばされました。

尚同じく宮中の「皇霊殿の儀」では、両陛下のご名代として、皇太子同妃両殿下が御装束に身を包み、ご拝礼にられました。



武天皇祭を遙拝して、今年神武天皇二千六百年式年祭を遙拝致しました。

我が国初代の神武天皇が、今から二六七六年前に橿原の宮で即位されたから、ご治世七十八年。ご崩御になつてから本年が二千六百年の式年を迎えているのであります。当宮でも毎年神武天皇祭を遙拝して、今年神武天皇二千六百年式年祭を遙拝致しました。

『夫れ大人の制を立つる、義必ず時に随ふ。苟も民に利有らば何にぞ聖造に妨はむ。恭みて宝位に臨み、以て元元を鎮め、上は則ち乾靈の国を授けたまひし徳に答へ、下は則ち皇孫の正を養ひたまひし心を弘むべし。然て後に、六合を兼ねて都を開き、八紘を掩ひて宇と為むこと亦可からずや。夫の敵傍山の東南橿原の地を觀れば、蓋し國の奥区か、可治之』

とあり、この美しい国の橿原の地に皇居を営まれ、

『辛酉年春正月、庚辰朔、天皇橿原宮に即位。是の歳を天皇の元年と為す。』

『始、馭天下之天皇と曰す、號を神日本磐余彦火火出見天皇と曰す。初め天皇天基を草創めたまふ』(抜粋)

とあります。今から二六七六年前のご即位の日であり、神話に基づく日本国の誕生日で、明治6年改暦にあたり2月11日と定められた元日の紀元節。今の建国記念日であります。

建国の理想は「八紘一宇」(八紘を掩いて宇と為む)。多くの国々の国民が、一つ屋根の下で家族のように仲良く暮らしたい、との今の国連憲章に云われているような、人々の絆を強調した気高い国づくりの理念が示されており、私ども日本人の

団結力の源泉とも云えるものであります。又、天皇(皇室)の国民として、「いやしくも民に利有らば、何にぞ聖の造に妨はむ」そうして国民を大御宝と呼ばれております。天皇(皇室)の最重要任務として、皇祖神(天照大神)をお祀りなり、常に「国安かれ、民安かれ」と祈られ、国民を大御宝として我が子のように慈しみ、情愛の心をもって接してこられました。歴代天皇(皇室)の一貫した責務は、不断の掟であり、不滅の伝統に他なりません。

私も、神武天皇以来二六七六

年、第一二五代にわたる歴代の天皇様を国家の中心として戴いて来たことを喜びとし、有難く思い、心より敬愛し景仰申し上げ、忠誠心を尽くして来た国柄でもあります。又立憲君主国として、世界の国々より羨望の眼差しで尊敬されております。この世界に比類のない日本の在り方に誇りと自信をもって神武建国を語り継ぎお徳び申し上げたく思います。

第一二五代の今上陛下に継承されている宮中祭祀は、歴代天皇が行われてきた最大の重儀であります。宮中三殿(賢所、皇霊殿、神殿)を中心に常に「国安かれ、民安かれ」と世界の平和を祈り続けて下さっております。

此度の神武天皇山陵に二千六百年式年祭を御親祭されたのも、東日本大震災5年目に当たる慰霊祭でのお言葉や、東北3県を巡幸啓されご慰霊されているお姿、昨年のパラオ共和国ペリリュー島慰霊の旅、更に今年フィリピン国交60周年に当たりご渡航されました。海外での慰霊を続けておられるお姿は誠に尊く、皇室こそ日本の精神的柱であると多くの

国民や海外の人達も実感されたのではないのでしょうか。国家が危機に直面したり、国民が困難である時も、平時の時も「国安かれ、民安かれ」と常に国家安泰と国民の幸福に併せて、世界の平和を祈り続けて下さっているご存在であり、神武天皇以来歴代の天皇が連綿と続けてこられたものであります。

万世一系の世界に比類のないご存在であり、財力や武力で統治した権力者とは異なり、国家を憂い、国民を大御宝として常に慈しまれる大御心で統治されて来た尊いご存在であります。

そのご存在の天皇様が歴代一貫して先ず神事として祭祀を執り行われ、その後、他の諸々の事が行われております。

その最たるご神事が皇祖神のお祀りでご宮中祭祀であり、神宮祭祀であります。

御親祭になりました第62回神宮式年遷宮でも、新宮にお移りなるご社殿のお建替えに伴い、多くの御装束、御神宝類が、陛下のご聴許のもとに、生きた正倉院の如く新調されて、お納めに成りました。

そうして、第62回式年遷宮も厳粛に盛大に執り行われ、史上の類例のない全国より多くの参拝の人々で賑わっていることは記憶に新しいところでもあります。

平成25年の第62回式年遷宮の年が、当宮御鎮座九百五十年式年の年という、将に浅からぬ御神縁を戴いており、(因みにこの巡り合わせは、順調に遷宮が行われますと百年後に巡って参ります。)またとない好奇縁でありましたので、予てより厚かましくも神宮当局へ(四頁へ続く)

### 第38回稚児行列巡行

3日(第二日ノ儀)の稚児健康祈願祭の後、午後2時半より稚児行列を齋行。社殿前で記念撮影の後、吹奏楽を先頭に猿田彦、陣羽織姿の役員総代、りんどう会役員の供奉に続いてお稚児さんたち、BS・GS、飛び入り参加自由の太鼓山車奉曳の子供等、総勢400人を超える行列が神門を出発し、周辺の13キロを練り歩きます。神々の依代として稚児奉仕すると健やかに成長されるといわれています。



### 大宮八幡 植木市

「大宮八幡植木市」は大祭期間中の3日より5日まで表参道にて開催され、参道には、新緑の苗木や色鮮やかな花々が彩り、園芸用品などを求めて多くの参拝者が訪れます。また植木の他、露店も多く並びます。



### 苗木授与と献木のお祝い

5月4日(みどりの日)午後2時より第67回全国植樹祭に因んで、当宮みどりの会主催の植樹祭が斎行されます。祭典後各家庭にも緑を拡げる運動の一翼として祭典にご参列の方々先着200名様に観葉植物が授与されます。またご社頭では、皆様方より献木のご協賛を承っております。献木初穂料一口二、〇〇〇円。※年間を通じて承っております。

### わかば祭り祭典と奉納神賑行事

- 昭和祭 4月29日
- 朔日祭並びに躑躅育木祭 5月1日
- わかば祭り第一日ノ儀 5月3日
- 第38回稚児行列巡行 5月3日
- わかば祭り第二日ノ儀 5月4日
- 植樹祭(苗木授与先着200名) 5月4日
- わかば祭り当日祭(尚武祭) 5月5日
- わかば祭り終了奉告祭(直会乃儀) 5月5日

### 神賑行事

- 春の弓道奉納射会 4月29日
- 古武道武技奉納 5月3日
- 佼成学園吹奏楽部奉納演奏 5月3日
- 第16回若葉inおおみや 5月4日
- 第16回挙式者の集い 5月4日
- 極真空手坂本派ごも演武奉納 5月4日
- 杉並太鼓奉納演奏 5月4日
- 野点茶会(裏千家) 5月5日
- 方南エイサー踊り奉納 5月5日
- 雅太鼓奉納演奏 5月5日
- 奉納献燈提灯 4月29日～5月15日
- 園児画展 4月29日～5月15日
- みどりの会即売 4月29日・5月3日・5日
- スカウトバザー 5月3日

### 大宮八幡植木市

- 盆裁展示会・即売会 5月3日～5日
- 露店 5月3日～5日

### 第17回茶道裏千家献茶式

5月14日



### 御鎮座九百五十年記念事業 記念事業の主な概要

- ◇第一期事業
    - 一、御社殿北側バリアフリー化整備
    - 二、外拝殿南北西石階段バリアフリー整備
      - ・擬宝珠付高欄(檜材)増設工事
      - ・クネット手摺り設置工事
      - ・銅板屋根掛工事＝翼廊
    - 一、御社殿内拜殿御帳・外拝殿及び神門門帳の新調
    - 一、表参道大幡ポール(二対)設置工事
    - 一、南参道鳥居扁額の補修工事
    - 一、弓道場振武殿改修工事
    - 一、結婚式場清涼階段バリアフリー整備
    - 一、結婚式場清涼階段「亀の間」改修工事
    - 一、結婚式場清涼殿ロビー・階段カーペット張替工事
  - ◇第二期事業
    - 一、結婚式場清涼殿バリアフリー整備
    - エレベーター設置工事
    - トイレ改修等バリアフリー付帯工事
- 合計五、四〇〇万円  
総事業費一億五、三〇〇万円  
※青文字の事業は、既に工事完了した事業です。

### 杜の話題

#### 初春の表情

元旦の午前零時、宮司の打ち鳴らす一番太鼓が境内に響きわたり神門が開かれ、参詣の長い列が続き平成28年丙申の年が明けました。続いて観世流能楽師野村四郎氏により神能「翁」が奉納され、厄除開運大祈願祭(一番祈禱)が宮司奉仕により齋行されました。午前3時、多摩清水社にて宮司奉仕により若水が汲まれ、ご神前にお供えされました。午前8時には、宮司以下祭員により歳旦祭を齋行。立正佼成会庭野日鏡会長様を始め大勢の方々如初詣をされました。2日は、小笠原流宗家による新春除魔神事「蠶目の儀・大的式」が奉納されました。3日は午前10時より皇位の大元の始めを寿ぐ元始祭が齋行されました。

#### とんど焼き神事

小正月の恒例の行事である、古神矢・古神札等焼納祭(とんど焼き)が、1月15日に行われました。まず、ご社殿において月次祭並古神矢・古神札焼納奉告祭のあと境内の特設斎場で古神矢・古神札焼納祭を齋行、祝詞奏上のもと高く積み上げられた古神矢古神札、正月飾り等に火鑽神事により熾された浄火が点火され、宮司以下祭員・参列員らが、大祓詞を奏上する中、空高く燃え上がりました。その後、



### 御鎮座九百五十年式年 奉賛者芳名簿(その11)

平成27年12月1日～平成28年3月31日  
(※一万円以上の芳名抽出、敬称略、順不同)

<b>和田東地区</b>	一金参萬円
一金壹拾萬円	棚澤里絵
梅田直幸	大久保明子
<b>社務所扱</b>	松井良介
一金壹仟百圓参萬円	一金壹萬円
大宮八幡宮	早船由里子
振武会	(計四萬円)
一金壹拾萬円	清野裕二
松野好孝	(計貳萬円)
鈴木茂晴	大橋晏世
一金伍萬円	福島百合子
(計七萬円)	市瀬与彦
奈良誠志	岩本俊子
高木咲季	荒木一郎
奈良幸雄	

### 奉賛金勸募事業は 3月末日にて終了いたしました。

皆様方から頂いた浄財で御鎮座九百五十年記念事業第一期事業の殆どを終えることが出来ました。3月末で奉賛期間終了のため、近期中に奉賛会実行委員会を開催し、事業報告など、今後の予定について協議します。御鎮座九百五十年記念事業については東日本大震災という未曾有の国家的危機のなか、その遂行に多大の困難が予想されましたが、役員総代氏子崇敬者の皆様の篤き敬神の真心に支えられ、御鎮座九百五十年式年大祭、同式年奉祝大祭を齋行することができました。又、50年ぶりの小笠原流流鏑馬神事など奉祝行事

### 天皇皇后両陛下下 比律賓共和国 行幸啓安泰祈願祭

天皇皇后両陛下には去る1月26日から30日までの間、フィリピン共和国をご訪問なされました。これに併せて当宮では、1月26日に天皇皇后両陛下下比律賓共和国行幸啓御渡航安泰祈願祭を、ご帰国後の2月1日には天皇皇后両陛下下比律賓共和国御渡航還幸啓奉告祭を宮司以下祭員奉仕により中祭式にてご奉仕申し上げました。また、1月27日より30日まで毎朝の御日供祭で御渡航の御安泰を祈願しました。

### 文化財防火デー消防訓練

1月26日は文化財防火デー。昭和24年1月26日奈良・法隆寺の金堂より出火、国宝の十二面壁画を焼失しました。この事件を教訓として文化財を火災から守るためこの日が文化財防火デーに制定されました。当宮では、午前10時社殿より出火との想定で訓練を実施。通報連絡、避難誘導、初期消火に続いて杉並消防署、杉並消防団第2分団、東京都消防ボランティア、当宮自衛消防隊により、一斉放水を行いました。地元大宮地区町会の皆さんにもご参加いただきました。



### 春の大祭後の主な行事

御嶽様名神社例祭	5月16日
第37回大宮さつき展	5月下旬～6月上旬
大祓詞書写会	6月18日～26日
夏越の大祓・茅の輪くぐり	6月30日
第18回乞巧奠飾り	7月1日～15日
大宮八幡乞巧潜り	7月7日
七夕の神遊び(技芸下達祈願祭)	7月7日
雅楽の夕べ(雅楽と神楽舞)	7月2日・9日
第16回納涼天宮神楽(書道行掲出)	7月24日
第16回杜のびきんおみやげ和太鼓演奏	7月25日
多摩清水社例祭(水神祭)	8月1日
第33回戦没者慰霊祭	8月15日
第16回十五夜の神遊び・月の音舞台	9月25日

### 春の大祭後の主な行事

の執行、また御社殿のバリアフリー化・翼廊建設、弓道場振武殿の改修工事等所期の諸事業を完遂することもできました。さて、御鎮座九百五十年の平成25年は伊勢の神宮第62回式年遷宮の年でもあり、この奇しきご縁からか予てよりの神宮御当局への、ご撤下のご神宝のご下附のお願いがご聞き許し頂き、御装束神宝4点がこのほど下賜されました。今後の奉賛会の取り組みにつきましては、実行委員会と協議しますが、広く皆様方のご芳志を顕彰すべく芳名石碑を建立致すとともに、この神宮撤下御装束神宝ご下賜に伴う「神宮遷拜所」を建立し、いよいよ神宮崇敬の誠を捧げて参りたいと存じております。

### 伊勢参宮旅行

1月27日より泊3日の旅程にて恒例の伊勢参宮旅行が行われました。今回の参宮旅行には21名が参加。一行はまず東京駅より新幹線で名古屋へ。バスに乗り換え伊勢の神宮外宮に向かい御垣内参拝し、神宮会館にて昼食をとりました。その後は内宮を御垣内参拝し、御神楽を奉納しました。新しくなった神宮徴古館を拝観後、鳥羽湾を望む鳥羽シーサイドホテルに宿を取りました。2日目は、バスにて大和路に向かい総本山長谷寺を参拝。次いで石上神宮を正式参拝。天理教本部をはじめ奈良の名所旧跡を巡り、奈良市内萬葉の宿三笠に宿泊しました。3日目は東大寺を参拝後に東大寺ミニジヤムを拝観して、ならまちを散策。市内で昼食を取り、バスにて京都駅にて新幹線にて帰途につきました。



### 初天神祭

1月25日、大宮天満宮の初天神祭が齋行されました。年初の天神祭は受験シーズンでもあり、多くの受験生や、ご家族12組が合格祈願をされました。1月25日、貴乃花部屋成人奉告祭。女将さんの花田景子さんに引率されて



### 新春社頭往来

1月1日	観世流能楽師	野村四郎氏
	立正佼成会会長	庭野日鏡氏
1月2日	弓馬術礼法小笠原教場	他幹部の方々5名
	三十二世小笠原清忠氏	
	明治神宮権宮司	男成洋三氏
	(明治神宮崇敬会理事長)	
1月3日	衆議院議員	石原伸晃氏
		里紗様
1月4日	公益社団法人	
	日本プライダル文化振興協会(BIA)	
	会長	勝俣 伸氏
	専務理事	野田兼義氏
1月7日	東京都神社庁長	松山文彦氏
	東京大神宮宮司	渡邊 希氏
	杉並税務署長	
1月8日	大國魂神社宮司	猿渡昌盛氏
1月11日	赤坂氷川神社禰宜	恵川義孝氏
		他23名
	前杉並区長	山田 宏氏
	前衆議院議員	
1月14日	報徳二宮神社宮司	草山明久氏
1月25日	貴乃花部屋 女将	花田景子様
	成人奉告力士4名	他1名
1月31日	志野流香道家元	蜂谷宗玄氏
2月9日	竹駒神社宮司	千葉博男氏

### 成人奉告に来宮されました。

成人奉告に来宮されました。松木柊斗(貴大将)・西畑龍(貴西龍)・隅本大二郎(貴神龍)・水田健斗の4名の力士と親方のご子息計5名の新成人は神妙な面持ちでご神前に向かわれました。2月3日は節分と言われ、この日に今年1年の邪気を祓う神事が行われます。当宮では、午前10時より節分祭を齋行。祝詞奏上のもと桃の弓・葦の矢で「天・地・人」の魔を射る卯杖神事を奉仕。次いで社殿前にて、今年より初めて古式にのっとり宮司奉仕により鳴弦の儀が厳粛に齋行されました。その後当宮幼稚園の園児たちが鬼に扮して豆撒き神事が行われ、次いで一般参拝者を対象に2度目が奉仕されました。



### 紀元祭並榎原神宮遙拝

2月11日は、初代の神武天皇が大和榎原の宮に即位され、わが国が建国された記念の日です。午前10時、まず社殿にて紀元祭を齋行。次いで清涼殿の特設斎場にて榎原神宮を遙拝。「紀元節」の歌を声高らかに斉唱し、聖寿萬歳を三唱。皇紀2676年前のその上をお祝いしました。



### 大宮稲荷神社、初午祭

今年の初午は2月6日で、午後1時より、初午祭が宮司以下祭員により齋行されました。新たに奉納された初午職のため、中、五本木・瀬沼・鈴木役員他15名が参列しました。

### 神道連フイリピンで慰霊祭

神道政治連盟は2月4日～7日の日程でフイリピン共和国にて第20回海外研修並びに第14回時局対策連絡会議を開催しました。今回は大東亜戦争終結70年の節目を迎えて、神風特別攻撃隊第一陣が出立したマバラカットにて戦没者慰霊祭を齋行。当宮より提督権権宜が領土問題に関する講演を聴講しました。

### 東日本大震災復興祈願

「私どもは3・11を忘れません」未曾有の大災害をもたらした東日本大震災から5年を迎えました。原発事故の問題を含めて、復興はまだまだ道半ばです。3月11日当日、朝の日供祭では、犠牲者への慰霊と復興祈願の祝詞を奏上し、宮司以下職員・一般崇敬者と共に大祓詞3巻を奉唱しました。また、地震発生時刻の午後2時46分には、ご参拝の約60名の皆様と共に社殿前に向かって、1分間の黙祷を捧げました。

3月15日には、東日本大震災復興祈願祭を月次祭と併せて齋行し、一日も早い被災地の復興を祈りました。

### 勸学祭・ランドセルお祓い式

3月26日と27日、小学校入学を祝い

お子様の成長を記念する「勸学祭・ランドセルお祓い式」が執り行われました。大きなランドセルを背負った新1年生達が緊張した面持ちで参列しました。

### 桜まつり開催

桜の開花にに合わせて3月26日から4月3日にわたって「桜まつり」が開催されました。当宮境内より和堀公園内の善福寺川沿いには、数千本の桜があり、時季になると一斉に開花して目を惹きつけてくれます。期間中の土・日曜日は午後8時まで開門して和堀公園への往来も自由になりました。26日と2日の両日には神楽殿にて「夜桜の神遊び」が行われ、ライトアップされた桜の中、神楽舞と雅楽が奉奏されました。

### 立正佼成会郡山教会・鳥取教会が参拝

3月27日、立正佼成会郡山教会の少年部が来宮されました。一行は教会長六澤啓衣氏以下55名、立正佼成会本部よりバスにて到着後正式参拝。また、4月3日には立正佼成会鳥取教会78名が来宮されました。一行は到着後直ちに教会長佐保欽也氏を代表に正式参拝。どちらとも神職より説明を受け次の訪問先(本部等)に向かわれました。



郡山教会少年部の参拝

### りんどう会だより

#### 厄除げぜんざい奉仕

新年初めての活動として1月15日、どんど焼き神事に併せて「厄除げぜんざい」を奉仕しました。多くの参詣の方々にご神火で焼いた福餅のぜんざいをお召し上がりいただきました。

#### 新年懇親会

新年懇親会が2月25日に開催されました。社殿での参拝の後、清涼殿にて51名の会長、以下会員が集い、宮司、五本木・内山・鈴木各責任役員も参加、楽しいひとときを過ごし懇親を深めました。



#### 清掃奉仕

わかば祭りを迎えるにあたり、4月26日に御垣内清掃が行われます。会員自らの手によって御垣内の隅々まで落ち葉が掃き清められます。りんどう会では随時会員を募集しております。ご入会希望の方はお気軽に事務局(社務所)までお申し出下さい。

### 親子で野外体験会

大宮八幡宮内スカウトの森にて「親子で野外体験会」が2月21日に開催されました。杉並第13団のボーイスカウトやスカウトリーダー等は参加者等とともに自然にふれあいながら、料理や工作・ゲームなどスカウト活動を楽しみつつ入団を勧誘しました。



### 氏子青年会だより

#### 氏子青年の集い

氏子青年の集いが2月28日に開催されました。当宮氏青会員の他、高円寺水川神社、馬橋稲荷神社の各氏青、藤枝・瀬沼・鈴木各責任役員、田中杉並区長等来賓を迎え、61名が出席しました。まず社殿にて正式参拝し、次いで清涼殿にて懇親会を開催。神宮通拝、氏子青年の綱領が唱和され、井川会長挨拶、宮司挨拶に続いて田中杉並区長の挨拶があり、和やかな内に集いが進められました。



#### 郡氏青協参拝旅行

第18回東京都氏子青年協議会の研修旅行が3月13日に開催され、当宮氏子青年会から、安達・伊藤・星野役員、鈴木会員の4名が参加しました。新宿駅西口よりバスに乗り、川越に向かいました。喜多院や川越城を拝観後、途中屋敷を取り高麗神社へ。正式参拝の後、高麗宮司様よりお話を伺い帰途につきました。

### 大宮八幡宮が育成母体 BS・GSスカウト募集



小学1年生から各学年ごとにいつでも入団できます

### 多摩清水社例祭

8月1日の水の日、朔旦祭に引続き多摩清水社の例祭が齋行されます。俳人阿波野青畝は「広き野に霊の清水のあるところ」と詠んでいます。水の大切な盛夏の時期に、水神様のご神徳を称え水の恵に感謝の誠を捧げるお祭りを行います。



### 第33回戦没者慰霊祭

当宮及び兼務社の氏子地域より出征された戦没者のご英霊たちに感謝と追悼の誠を捧げ、世界平和をご祈念する。第33回「戦没者慰霊祭」が8月15日に齋行されます。



### 大宮八幡祭り(秋の大祭) 祭典日程のお知らせ

本年度の大宮八幡祭り(秋の大祭)は左記の日程により齋行されます。

- \*例祭は9月15日(木)に齋行する
- \*神輿神霊入れ祭・若宮八幡神社並白幡宮例祭は9月16日(金)に齋行する
- \*宵宮祭は9月17日(土)に齋行する
- \*氏子奉幣祭、神輿合同宮入りは9月18日(日)に齋行する
- \*神輿神霊返し祭は9月19日(祝)に齋行する

### 大宮八幡の杜 春から夏へ

#### 水無月夏越の大祓



大祓は私たちが知らず知らずのうちに犯した罪や過ちなどを祓い清める神事です。古くは平安時代の儀式書『延喜式』にも記されています。この6月の大祓を「夏越の大祓」といいます。6月30日、午後4時より夏越の大祓が齋行されます。神門前の参道広場の齋場にて、先ず宮司に併せて大祓詞を奉唱し各自切麻で自己祓い、形代で全身を撫で息を3度吹きかけて心身の罪穢れを移して祓い清めます。次いで「水無月の夏越の祓する人は千歳の命延ぶというなり」と唱えつつ、茅の輪を左右左右と3回くぐって更に祓い清めを行います。

#### おほはらえことば 大祓 詞浄書(水無月書写会)

夏越しの大祓に併せて、りんどう会と共催の大宮八幡塾「水無月書写会」(大祓書写会)が開催されます。約900字の「大祓詞」を書き、奉納して大神様のご神徳を戴きます。期間中は午前9時半～午後3時半まで茶室「神泉亭」にて随時受付しております。尚、浄書された大祓詞は大祓に引き続いて行われる奉納奉告祈願祭にて神前に納められます。



### 平安の雅び第18回乞巧奠飾りと平成の七夕大宮八幡乞巧祭り

7月1日より15日の間、第18回「平安の七夕乞巧奠飾り」を開催します。技芸上達を願う乞巧奠は、平安の世より宮中を中心に広く行われた行事です。清涼殿ロビーにて乞巧奠飾りを再現展示します。神門前には梶の葉や五色の布を付けた平成の七夕「大宮八幡乞巧祭り」が設けられます。



### 「大宮八幡乞巧守り」を奉製

今年も期間限定で「大宮八幡乞巧守り」を授与します。学業や技芸の上達を祈願して笹竹に紅白の七夕人形が付けられた特別に奉製されたもので、7月1日(朔日祭)より大宮天神こどもまつりの25日まで受けられます。



### 書画行燈の募集

納涼大宮天神こどもまつりに当たり「書・画」の作品を募集します。書や画は、行燈に貼って灯を点し7月24日の夕刻より大宮天神祭に献灯して、ご社殿前に掲出されます。水彩画又は書を指定の用紙に必ず横長に使用して、ご奉納(応募)頂いております。(※用紙は社務所にあります。無料)



### 納涼大宮天神こどもまつり

天神様の御縁日である7月25日とその前日の24日の2日間、大宮にわたり、大宮天満宮において夏の風物詩第16回「納涼大宮天神こどもまつり」が行われます。24日夕刻には、崇敬者の方々及び大宮幼稚園園児・近隣の小中学生の皆様よりご奉納いただいた多数の書画行燈に灯りが入れられ、幻想的な雰囲気の中、午後5時より宵宮祭が齋行され、翌25日は午後5時より大宮天神祭が齋行され、祭典に続き子供等による「こどもあかり神輿」が元気に担がれます。午後6時半より「杜のひびきinおみや」(時間をはずした日の祭事)として夕闇に響きわたる和太鼓の奉納演奏が行われ、神門前では「子供のミニ花火の集い」が催され、大人からお子様までお楽しみいただけます。又、両日とも氏子青年会による模擬店(夜店)が出店されます。





# わかば祭り(春の大祭) 5月3日~5日

## わかば祭り 第一日ノ儀 こどもの祭り (稚児健康祈願祭) [3日]

稚児行列に、吹奏楽・スカウト・猿田彦・役員総代・こども太鼓山車などの多くの供奉。



先頭を行く  
桜成学園吹奏楽部



猿田彦、役員・総代、りんどう会が続く



稚児行列奉告参拝

## わかば祭り 第二日ノ儀 植樹祭 [4日]



併せて  
奉式者の集い開催奉告



奉式者の集い



植樹祭

## わかば祭り 当日祭 (尚武祭) [5日]



宮司以下祭員ら参進



国家安泰・五穀豊穰・氏子の繁栄を祈る



園児ら朝日子の舞奉奏



盆栽展示 [3日~5日]



古武道武技奉納 [3日]



杉並太鼓奉納演奏 [4日]

大 宮 第105号  
平成28年 春の大祭号  
平成28年5月1日発行  
大宮八幡宮社務所

〒168-8570  
東京都杉並区大宮2-3-1  
電話 (3311)0105 FAX(3318)6100  
Mail : info@ohmiya-hachimangu.or.jp



野点茶会 [5日]



方南エイサー踊り [5日]

大祭期間中 (3~5日)、境内では連日神賑行事が奉納されます。  
参道には露店が多数立ち並び、大宮八幡 植木市・盆栽即売会も行われます。